

膜式バクテリア除去フィルタ

湿気とりくんフィルタ

●カートリッジ形式 ●低流量、低圧力でも使用可能 ●小型、軽量、省スペース



適用分野：医科、歯科、試験用分析装置、他

仕 様			
形式	DRY3	DRY7	DRY10
処理空気量 (ℓ/min) (ANR)	150	300	500
使用流体	空 気		
ろ過精度 (μm)	0.01		
最高使用圧力 (MPa)	1.0		
保証耐圧力 (MPa)	1.5		
使用温度範囲 (℃)	5~50		
ドレン貯容量 (cm³)	22	45	140
質量 (kg)	0.17	0.23	0.58
中空糸膜面積 (cm²)	300	700	1000
ボウルガード	無 (取付不可)	標準装備	
接続口径	1/4	1/4 3/8	1/2 3/4
フィルタ (交換カートリッジ) 形式	DRYC3	DRYC7	DRYC10

※処理空気量:入口側圧力が0.7MPaで圧力損失が0.03MPaのときの初期流量。
ANR:温度20℃、絶対圧760mmHg (101.3kPa)、相対湿度65%の空気の状態。
※一般小型フィルタ2点セット(エア用・オイル用)もあります。
※この製品は「水とりくん」と併設して取付される事を推奨します。

OMS・DRYミストフィルタ取扱要領

株式会社セイロアジアネット

- 本製品は、一般工業用の圧縮空気を調質するために設計されています。
- 本製品は、一般エアフィルタの後付けでマイクロミスト捕集除去用として使用します。
- 本製品の主要材質はアルミニウム(本体部)・ポリカーボネート(ドレンボウル部)等です。

【注 意】

- 屋外及び空気温度50℃以上の環境での使用は避けて下さい
- 本製品を設置する場合、既存配管内のフラッシングを十分に行い、配管内のゴミ・異物を取り除いて、ドレンボウルを下側に垂直に設置して下さい。
- 本製品の本体部とドレンボウル部が完全にロックされていることを確認下さい。
- 本製品の表示(矢印)にしたがって、エア入口・出口を確認の上、接続して下さい。
- 配管や継手のネジ部にはエア漏れを防ぐため、シールテープを巻いて下さい。
- ドレン排出器は標準仕様で手動排出となっています。目視管理にて、適宜コックを廻してドレンを排出して下さい。(オプションとして、自動排出タイプがあります。)
- 自動排出タイプの場合、ドレンの中のゴミ・異物によって作動不良を起こす場合がありますので必ずメンテナンスできる場所に設置して下さい。
- 空気流量は処理空気量の範囲内以下で使用して下さい。
- エレメントの寿命の目安は、使用時間最大1500h又は入口と出口の差圧0.05MPa以上となった場合(但し、環境的に水分・油分等が多いと思われる場合は、約半分の期間を目安に交換して下さい)
- 本製品の使用に関して圧縮空気のライン以外では使用しないで下さい。
- 本製品の設置は圧縮空気を供給しようとする機器のできるだけ近くに設置して下さい。
- ドレンボウル材質はポリカーボネート製です。ポリカーボネートを浸す化学薬品、直射日光、紫外線にさらすと破壊する可能性があります。これらを含む雰囲気中では使用しないで下さい。

	単位	オイルミストフィルタ		ドライフィルタ	
型 式		OMS-7	OMS-10	DRY-7	DRY-10
接続口径	RC	1/4	1/2	1/4	1/2
使用流体		空気			
ろ 過 度	μm	0.01		0.01(中空糸膜)	
空気処理流量	L/min	340	750	300	500
ボディ材質		アルミニウム			
最高使用圧力	MPa	0.98			
使用温度範囲	℃	5～50			
エレメント寿命		仕様範囲内使用で1000h～1500h又は差圧0.05MPaの早い方			
ドレン貯容量	cm ³	45	100	45	140
ドレン排出方式		標準:手動ドレン排出器 OP:フロート式オートドレン			
質 量	kg	0.29	0.61	0.23	0.58

- 空気処理流量は圧力が0.7MPaの数値です。
- この製品の手前にエアフィルタ等を設置して、3～5ミクロンの固定物質は除去して下さい。
- 本製品の取付(壁面固定・2連以上の場合)は別途(OP、ブラケット)が必要です。

【トラブルと対策】

現象	主要原因	対策
出口側圧力降下	エレメントの目詰まり	エレメントの交換
	配管ラインでのエア漏れ	エア漏れを直す
出口側にドレン(油)が出る	ボール内のオーバーフロー	ドレンを排出する
	①ドレンの抜き忘れ	①定期的排出
	②エアフィルタを手前に付けていない。	②エアフィルタを点検
ドレンボウルの破壊	有機溶剤・酸・アルカリ雰囲気で使用	ドレンボウルの交換(メタルボール)
	圧縮機の潤滑油・添加剤の影響	潤滑油等の変更

- 後部に膜式ドライヤを付属した場合は、エア品質が露点への影響を及ぼしますので、DRYフィルタ等が汚れて来ましたら、早めのエレメント交換を推奨いたします。